

網膜走査型レーザアイウェア RETISSA®

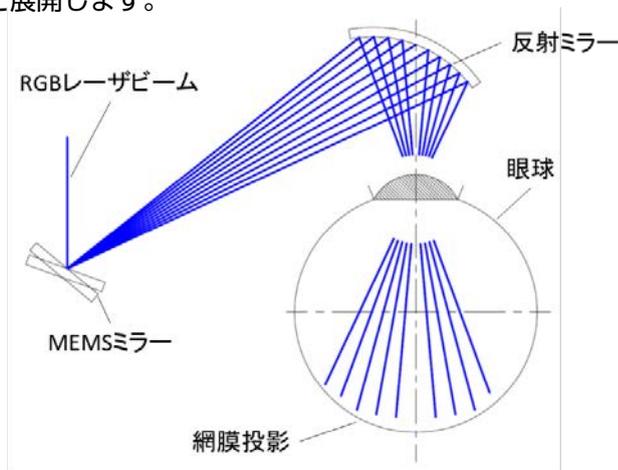
視覚支援用（ロービジョンサポート）アイウェア

先進技術

参考出展

お客様のメリット

- 視力やピント位置によらず画像を投影することができるため、ロービジョン*1の方々の視覚をサポート **特許出願済**
 - スマートフォン、タブレットなどのデジタル機器と接続し、映像/文字などのデジタル情報の鑑賞や取得が可能
 - カメラ機能を用いて、各種掲示、新聞、雑誌などの閲覧や、外界映像を見て行動することが可能
- レーザアイウェアは、フレームの内側の超小型レーザプロジェクタから網膜に画像を投影する新しい技術です。NEDO平成27年度「課題解決型福祉用具実用化開発支援事業」に係る助成に基づき*2、大学眼科学教室、眼科病院、教育機関、弱視眼鏡店などと連携して、2015年度末に視覚支援機器として製品化し、作業支援やエンターテイメント用途へと展開します。



※本アイウェアは認可を受けた医療機器ではありません。アイウェアを使用した効果（見え方など）には個人差があります。使用にあたっては当社指定の専門スタッフのアドバイスをお受けください。

*1：米国の定義に基づく、矯正視力0.1から0.5で弱視（ロービジョン）、矯正視力0.1以下で(社会的)失明と呼ばれる。視覚障害による生産性やQOLの低下などでもたらされる国内の社会的損失額は約8兆8千億円に及ぶ。現在国内164万人の視覚障害者は20年後には25%増の200万人に達し、大幅な社会的負担が増える見通しである。（「日本における視覚障害の社会的コスト」日本眼科医会研究班報告2006～2008）

*2：福祉用具開発の新たな3テーマに実用化支援 http://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_100441.html

※本資料中、**特許出願済** 表示箇所については特許出願済の技術を含みます。

商品・サービスについてのお問い合わせは

株式会社QDレーザ lew@qdlaser.com

ウェブサイト <http://www.qdlaser.com/?lang=ja>